

<教材案>

11月14日 古い地形図から学ぼう

文禄堤

2022.11.14 地理部全巡検

酒巻定将野野作

<演習>以下の地形図を読み取り、図の内容をまとめた以下の文章を完成させよう。Katoichu

地形図①

水車?

渡船 -- 赤岩渡船 -- 今代船(無料)

備前渠用水

福川

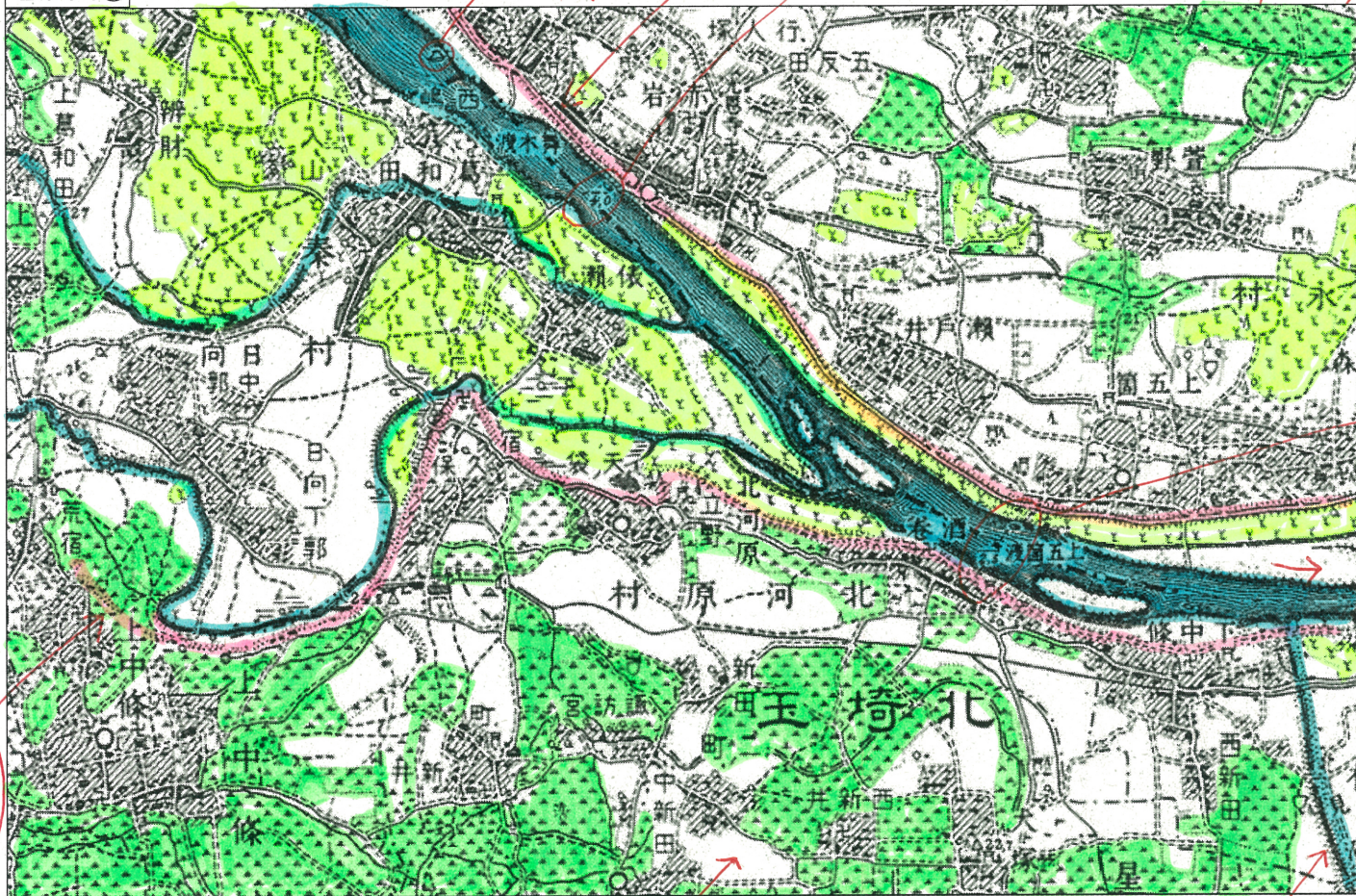
中系堤

群馬県

渡船

利根川

埼玉県



作業

指示に従って、地形図①の「水田」が表現されている範囲を縁どりし、黄緑色に、「桑畑」が表現されている範囲を縁どりし、紫色に塗りつぶそう。

※ 今の時代の空白地は空地の場合もあり得るが、ほとんどは火田です。(まじりの記号がなにもない)

考察

地形図①に行った作業から考えられることについて書かれた以下の文章を完成させよう。

<文章>

地形図①は(A 1910 (明治43))年に発行された5万分の1地形図「深谷」の一部分である。この地形図の記号は現在の地形図のものとは異なるものがあるが、着色によって、大きく(B 水田)の土地利用の地域と、大きく(C 桑畑)の土地利用の地域に分かれることがわかる。また、図の名前や描かれている「北埼玉」などの(D 地名)から、現在の(E 埼玉県)北部の一部であることもわかる。図の中の水田や桑畑の記号の分布は、この地域が(F 稲作)や(G 養蚕)を中心とした農村地帯であることを地形図から読み取ることができる。

桑畑、火田、旱田... 自然堤防)と土地利用から地形も特定できる。

発展学習

地形図①の「河川」を水色に着色し、「酒巻」地点から「荒宿」地点までの「堤防」の記号を指摘し、当時の「河川」の範囲と農地で生産されたものの関係や、「河川」に書かれた記号を調べ、当時の河川の利用の様子について調べてみよう。

逆水地

酒巻ではおしよめて、洪水時は逆流し、上流が逆水地になる。

酒巻で川幅がせまらね、上流側は逆水機能をしていることがわかる。埼玉県側から見ると、葛和田、酒巻には利根川を渡る渡船があり、葛和田と対岸の赤岩を結ぶ渡船は現在も群馬県今代田村が運航している。